



【2016-9】 2016年12月6日

日本フォーミュラ・フォー 関係者各位

日本F4協会 事務局

お知らせ

ブレーキ配管、ホイールティザー カバーのサスペンションアームへの取り付けについて

前略 皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

現在、JAF地方選手権F4レース、F4日本一決定戦にご参加いただいているF4車両にブレーキ配管、ホイールティザーを覆うカバー(以下:**カバー**)をサスペンションアームに取りつけている車両があります。このカバーの形状等について、ご案内します。

JAF国内車両規則 レース車両規定 第11章フォーミュラ4にて車両の細目がルール化されており「2条6項)空気力学的装置」では空気力学的影響を有する特定の部分は車体に完全に固定されていることが要求されています。

サスペンションアームは車体に動く状態でとりつけられていて、固定されていません。従いまして、サスペンションアームに空気力学的影響を及ぼす形状を付与することは禁止されます。ここに取り付ける**カバー**も、その形状が空気力学的な影響を与えてはなりません。

一方で安全を確保するために**カバー**の設置が望ましい場合があります。

カバーを取り付ける際には、この形状が空気力学的影響を有さない様にご配慮ください。

株式会社日本フォーミュラ・フォー協会ではJAF地方選手権F4レース、F4日本一決定戦F4レースに参加できる車両を承認し、テクニカルパスポートを発行して管理しております。テクニカルパスポートを発行されている車両では下記の細目ルールを遵守ください。

早々

記

★ブレーキ配管、ホイールティザーを覆うカバーの細目ルール

ブレーキ配管、ホイールティザーを覆うカバーをサスペンションアームに取り付ける場合、その断面形状は車両の進行方向に対象な断面形状として整形されている事。寸法はカバー本来の機能、ブレーキ配管、ホイールティザーの保持、保護を満足する最小限度とする。

以上